

大呂愛宕祭

300年以上の歴史があり、火難よけ、五穀豊穡を祈願する大呂愛宕祭が8月24日、鳥上地区大呂地内で行われ多くの人で賑わいました。

今年も、賑やかにどう屋台やねぶた、趣向を凝らしたデコ屋台などの山車行列が通りを巡行し、大呂愛宕大権現を目指して華麗な風情を繰り広げました。

愛宕大権現境内では、幻想的にライトアップされたなかで、華やかな衣装をまとった子どもたちが笛の音に合わせて太鼓やチャンチャの音色を響かせ、訪れた人たちは晩夏を彩る夏祭りに浸っていました。



▲美しくライトアップされたどう屋台

三成・大呂愛宕祭

今年も盛大

三成愛宕祭



▲祭りを盛り上げる仁多神輿連

8月24日と25日、三成愛宕祭が開催されました。

24日の本祭りでは、午前中からオープニングとして、三成保育所にここげんき太鼓の演奏を皮切りに、三成小学校、仁多中学校吹奏楽部が、4箇所のステージで踊りや演奏を披露しました。

また、午後からは子供神輿が町を練り歩き、子どもたちの元気な掛け声が祭りを盛り上げました。

夜には、6団体が参加した仁輪加パレード、5箇所の特設ステージでの神楽やバンド演奏などで大いに賑わいました。

また、約1千発の花火が打ち上げられると、訪れた人たちは夜空を彩る大輪の花火に見入っていました。

第四十七回

陰陽少年剣道大会

八月二十六日、町民体育館で陰陽少年剣道大会が開催されました。今大会には、県内外から約四百五十人の少年、少女の剣士が参加し、日頃の練習の成果を発揮しようと、懸命に戦っていました。大会の結果は次のとおりです。

個人の部

- 【小学校低学年男子】
- 第三位 内田陸斗 (三成剣道スポーツ少年団)
- 第三位 古澤拓実 (八川剣道スポーツ少年団)
- 【小学校高学年男子】
- 第三位 松崎将汰 (八川剣道スポーツ少年団)
- 【小学校高学年女子】
- 第三位 三澤瑞樹 (亀高剣道クラブ)
- 【中学校男子】
- 準優勝 松崎康汰 (横田中)
- 第三位 村上颯大 (仁多中)
- 【中学校女子】
- 第三位 糸原裕佳 (横田中)

団体の部

- 【小学校男子】
- 第三位 八川剣道スポーツ少年団
- 【小学校女子】
- 第三位 八川剣道スポーツ少年団
- 【中学校男子】
- 優勝 横田中学校
- 【中学校女子】
- 第三位 仁多中学校
- 第三位 横田中学校



▲熱戦の様子

下水道使用料の見直しについて 下水道使用料審議会が答申



▲答申書を渡す三成会長(右)

8月28日、下水道使用料見直しについて、下水道使用料審議会(三成輝夫会長ほか委員9人)から井上町長に対して答申書が提出されました。

下水道使用料は、平成21年1月に旧町間の使用料を統合し、その後3年が経過したことから、これらの良好な維持管理を継続させるため、本年3月に諮問されました。審議会では、5回にわたって慎重に審議を重ねられ、先般、5%程度の料金引き上げの答申が提出されました。

今後、町ではこの答申を踏まえ、12月定例議会に下水道使用料金改定の議案提出に向けて検討することになります。

町の魅力をアピール

横田駅に観光情報コーナー



▲観光客に観光情報を提供するボランティアガイド

町内を訪れた観光客に適切な観光情報を提供し、観光客の増加と満足度の向上を目的に、JR出雲横田駅構内に観光情報コーナーが設置され、八月二十五日、開所式が行われました。

このコーナーは、十一月二十五日までの土、日曜日と祝日の午前十時半から四時時間、ボランティアガイド二人が常駐し、訪れた観光客に神話や神社などの観光情報を提供。平日は、パンフレットや観光情報提供ボードを設置し、新しい観光情報を発信します。

ガイドには、「奥出雲ガイド養成講座」を受講した六人の受講生と横田高校生が、交替で対応します。

式の後、早速観光客が訪れ、ガイドの方が町の特産物の紹介や道案内など、丁寧に対応していました。

この日ガイドにあたった渡部彰人さんは「もっと町のことを勉強して、お客さんへのニーズに合った町案内をしていきたい」と意気込みを語っていました。

人権を考える町民公開講座

『育メンじいさん&育メンパバのよもやまばなし 絵本で子育て』



▲対談をするよたさん(右)とサトシンさん(左)

我が子の子育てをきっかけに絵本作家に転身した二人の人気絵本作家、よたかずひこさんとサトシンさんの対談が九月一日、カルチャープラザ仁多で行われました。

この対談は「絵本で子育て」をテーマに、子ども、男女共同参画、男性の育児参加についてのトークや絵本の読み聞かせを通して、「いのち」「家族や地域の子育て」について考える機会を持つことを目的に開催されました。

二人は、この日が初対面でしたが、子育て体験談や絵本

作家に転身したきっかけなど、軽快におもしろおかしく話され、会場は和やかな雰囲気です。笑いにも包まれたり、時に共感を呼んだりし、来場者は二人の話に聴き入っていました。

また、対談中には、作家自身の絵本の読み聞かせが行われ、小さな子どもから大人まで、会場一体となって絵本の世界に引き込まれていました。

来場者には、子育て中のお父さんの参加も多く、子育てについて考える充実した時間となりました。



▲対談の後にはサイン会が行われました